

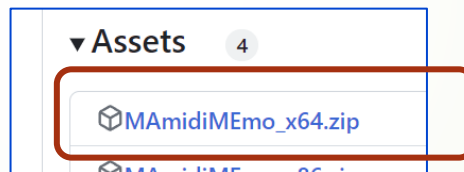
# MAmidiMEmo オペレーションマニュアル VSIF - MD編

V1.0.0

# MAmidiMEmoを起動する

(以下 MAmiと略)

1. VC++ 2012 Runtimeをインストールします  
<https://www.microsoft.com/en-au/download/details.aspx?id=30679>
2. <https://github.com/110-kenichi/mame/releases> から最新版のMAmiをダウンロードします

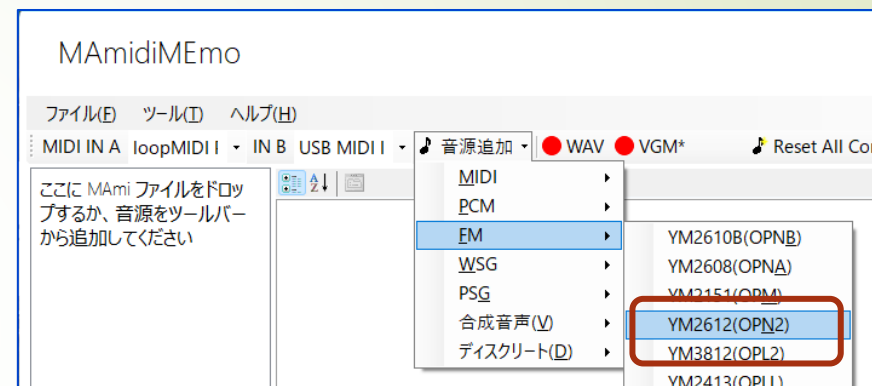


zipを解凍します(注：Windows標準の解凍ツールだとセキュリティフラグが立って実行できない場合があるため 7zip など他の解凍ツールがお勧めです)

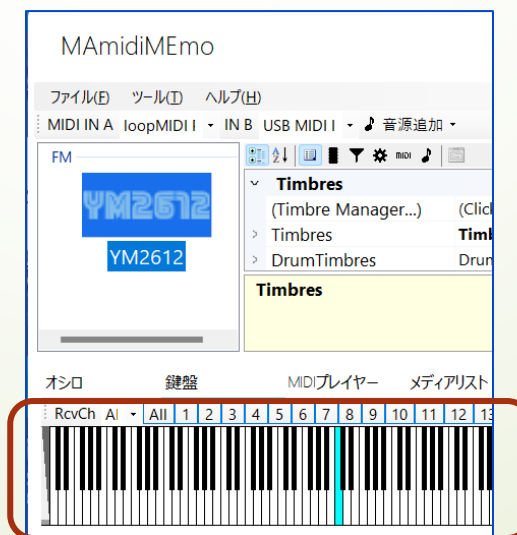
3. MAmidiMemo.exeが起動する事を確認してください。

# MAmiで音が鳴るか確認する

1. メニューから音源を追加してください

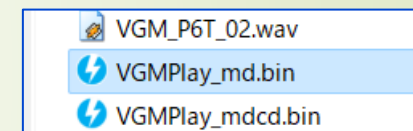


2. 鍵盤をマウスでクリックし、音が鳴るか確認してください



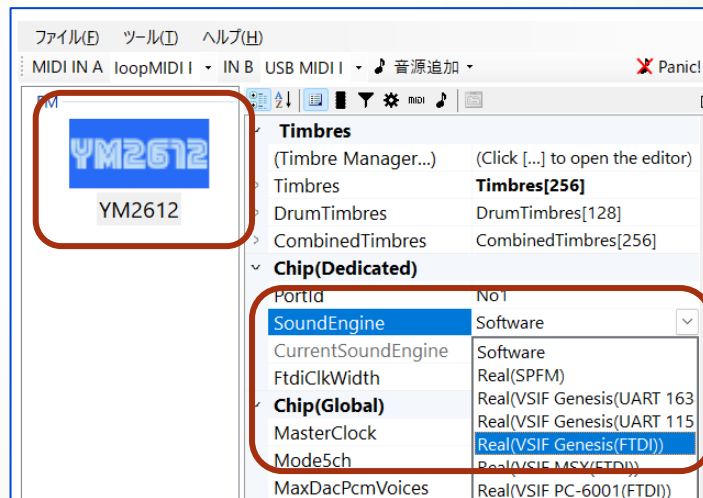
# VSIF Dongleをセットアップする

1. DongleをMDの2P側に繋げます  
※1P側は普通のコントローラを接続してください  
Windows PCとUSB-CケーブルでDongleに接続します
2. MAmiの VSIF フォルダの中にある VGMPlay\_md.bin  
をエバードライブなどに入れてVGMPlay\_md.binを起動します
3. 起動したら1Pの十字キーの下を押してください
4. セットアップは完了です。

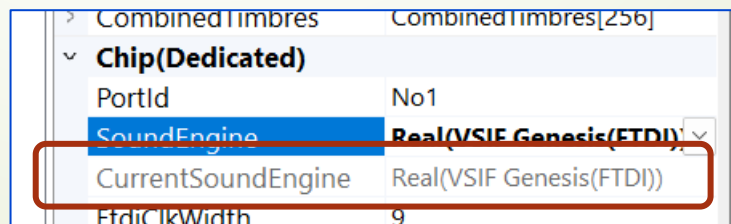


# MDとMAmiを接続する

1. Mamiの左側のペインのYM2612アイコンをクリックし、右側のペインで[SoundEngine]の設定から[ Real(VSIF Genesis(FTDI)) ]を選択します

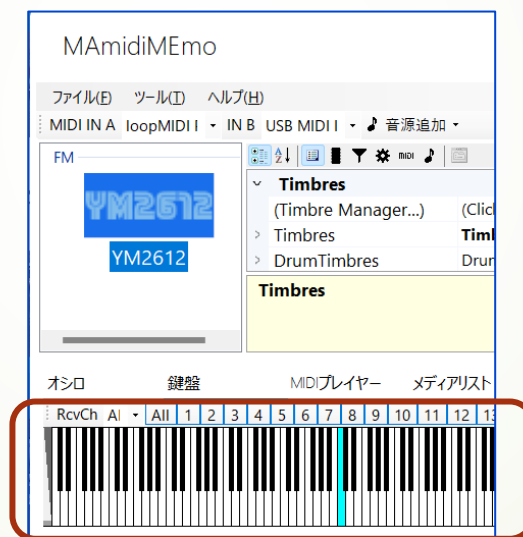


2. [CurrentSoundEngine]の値が [ Real(VSIF Genesis(FTDI)) ] であることを確認してください



# MAmiでMD実機から音が鳴るか確認する

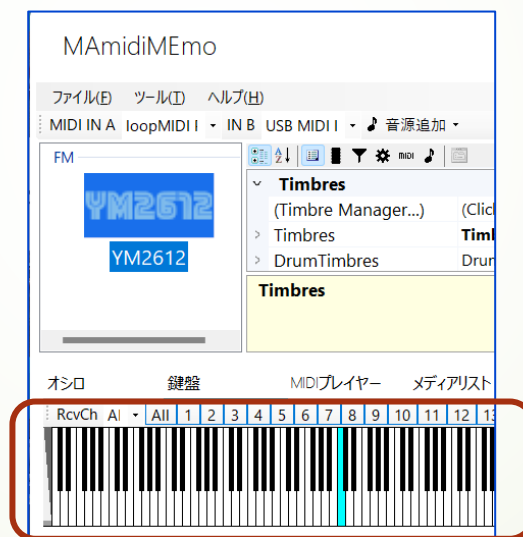
1. 鍵盤をマウスでクリックし、MD実機から音が鳴るか確認してください。





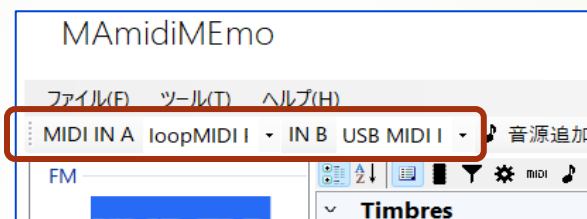
# MAmiでMD実機から音が鳴るか確認する

1. 鍵盤をマウスでクリックし、MD実機から音が鳴るか確認してください。



# MAmiをMIDI音源として使用する場合

1. [MIDI IN A]または[MIDI IN B]をPCのMIDI端子のMIDI IN機器に設定します



2. MIDI鍵盤などで音が鳴る事を確認してください

(参考)

loopMIDI <http://www.tobias-erichsen.de/software/loopmidi.html> を使うとPC内のソフト(DAWなど)から直接MIDI信号をMAmidiMEmoへMIDI信号を入れる事ができます。(使い方などはこちらなどで <https://webmidiaudio.com/npage501.html> 確認できます)



# MAmiのVST2音源としてインストールする

MAmiはMIDIにちゃんと対応したDAW(Cubase Pro, Studio One, Cakewalkなど)でないと使うのが困難です。

※すべてのDAWで動作するかどうかは未確認です。その場合はご連絡ください。

以下のA,Bどちらかでインストールしてください

(A) MAmidiMEmoの以下のメニューを選び、DAWのVST2フォルダを選択する。

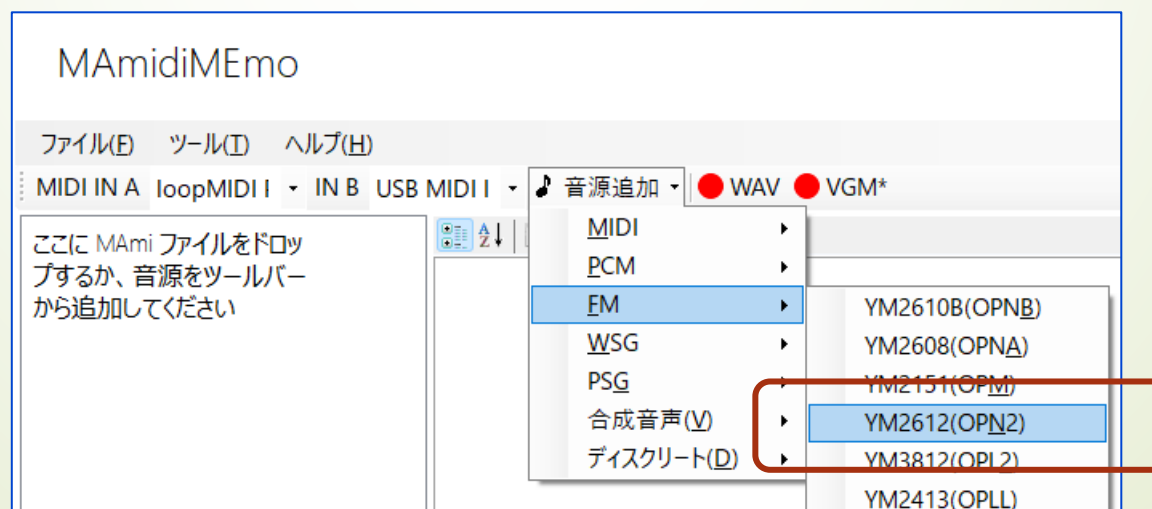


(B) DAWにMAmidiMEmoのVSTフォルダを指定する **(こっちがお勧め)**

# DAWでMAmiをMIDI楽器として登録する

1. DAWでVSTiトラックを作成し、MAmidiMEmoを選びます
2. MAmiのウィンドウで使いたい音源(YM2612など)を選択します
3. MAmiはMIDI音源のため、DAW上で**各MIDI chをMAmiに割り当ててください。**  
※複数のMAmiを複数のトラックに登録しても、**そのうちの1つのMAmiでしかドラムを使えません。**

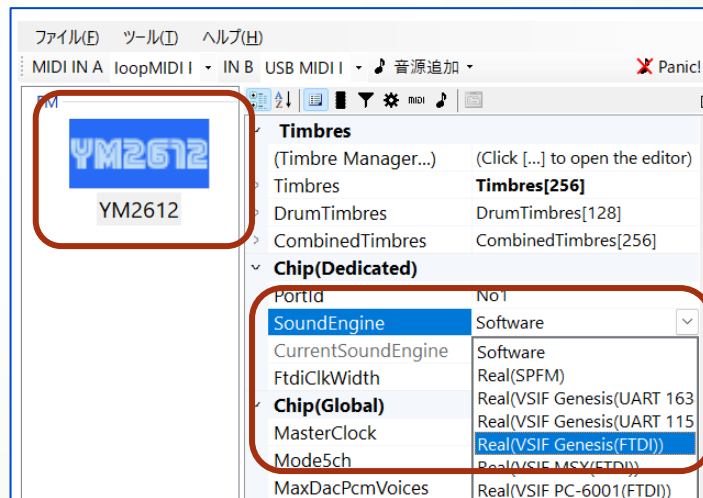
※MAmiを**複数**トラック登録すると**PCがかなり重くなります**



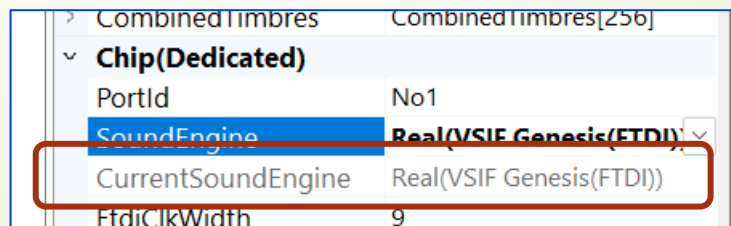
# MDとMAmiを接続する

(前ページで解説した方法と同じです)

1. 左側のペインのYM2612アイコンをクリックし、右側のペインで[SoundEngine]の設定から[ Real(VSIF Genesis(FTDI)) ]を選択します

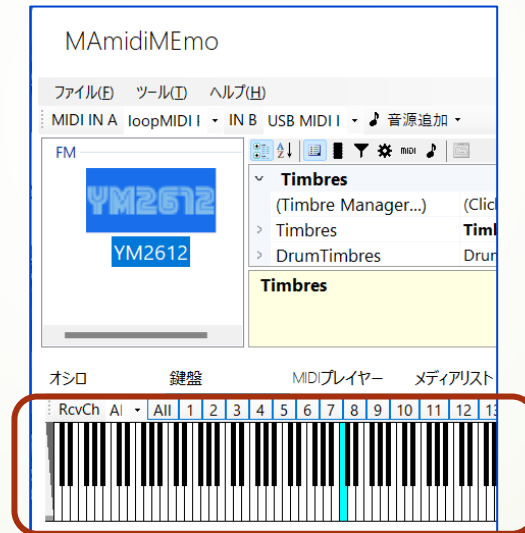


2. [CurrentSoundEngine]の値が [ Real(VSIF Genesis(FTDI)) ] であることを確認してください

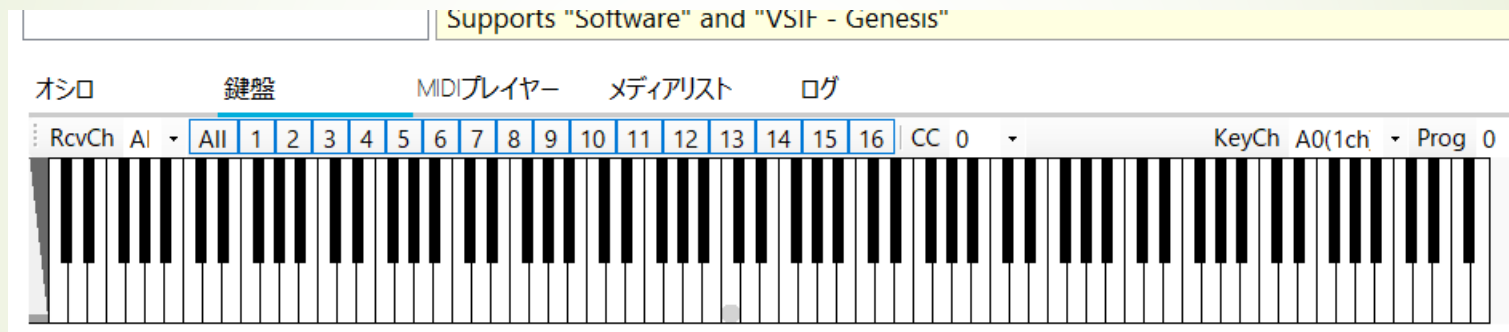


# MAmiでMD実機から音が鳴るか確認する (前ページで解説した方法と同じです)

1. DAW上でノートオンを指定するか、鍵盤をマウスでクリックするなどし、MD実機から音が鳴るか確認してください



セットアップが正常であれば、鍵盤をクリックすると実機から音が鳴ります。

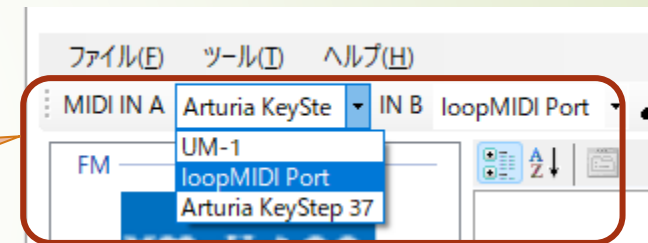


**MAmiをVST音源として使う場合  
設定の保存は自動で行われない場合があります  
ほとんど(Cubaseなど。DAW依存)です。  
忘れずにDAWのプロジェクトメニューから手動で  
プロジェクト保存を行ってください**

# 鍵盤での演奏方法

## MAmiがVSTプラグインではない場合

MIDI INの設定でお使いの鍵盤などを選択すると、鍵盤で演奏可能です。



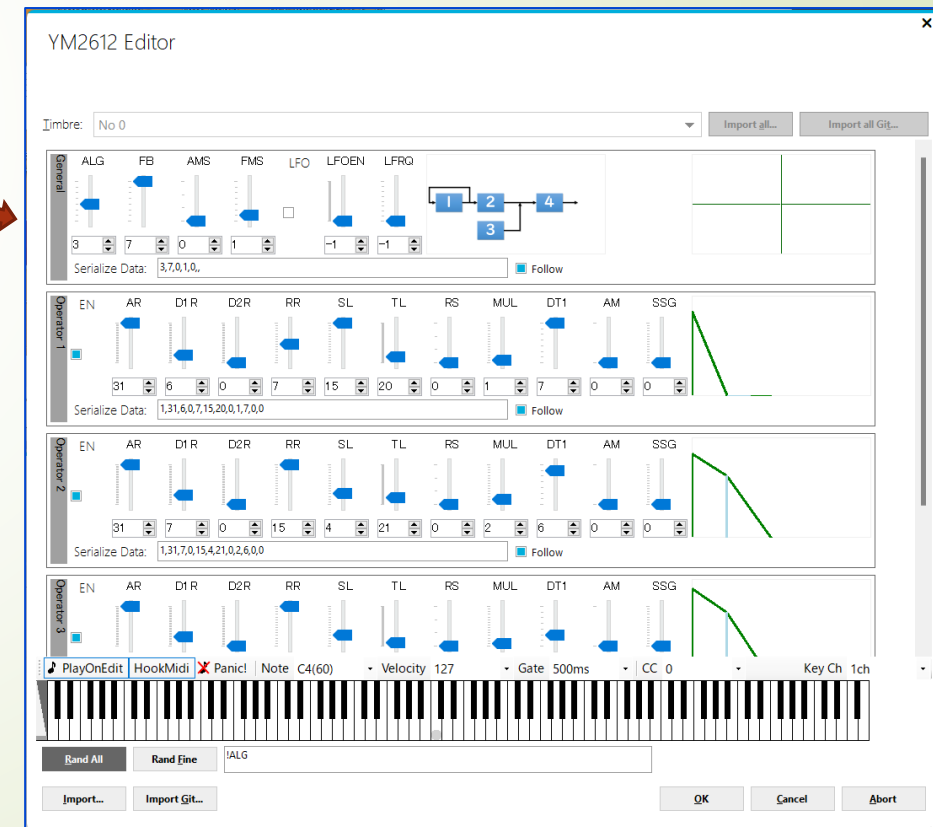
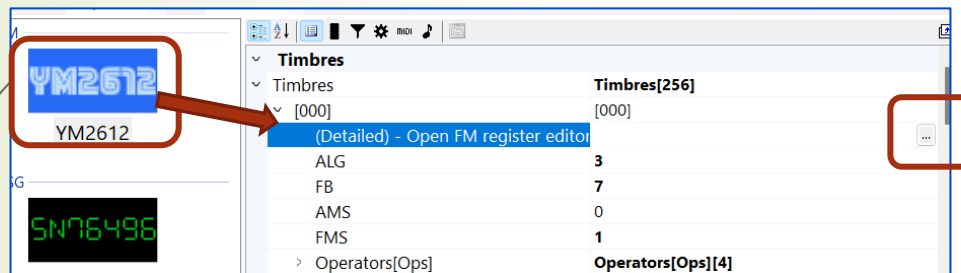
## MAmiがVSTプラグインの場合

お使いのDAWのマニュアルを参照してください



## 音色設定1

YM2612の[Timbres]で音色1～128のどれかを選び、[...]を押すとグラフィカルなFM音色エディタが起動します。



## 音色設定2

グラフィカルなFM音色エディタを起動しなくても、直接オペレータなどの編集も可能です

(Detailed) - Open FM register editor

ALG	3
FB	7
AMS	0
FMS	1
Operators[Ops]	Operators[Ops][4]
[0]	[0]
Enable	1
AR	31
D1R(DR)[D1R]	6
D2R(SR)[D2R]	0
RR	7
SL	15
TL	20
RS	0
MUL	1
DT1	7
AM	0
SSG_EG	0
MmlSerializeData	31,6,0,7,15,20,0,1,7,0,0
Memo	

## 音色設定3(エキスパート向け)

音源ドライバーによる独自の音色拡張設定も可能です

GlobalSettings	GlobalSettings
Enable	False
LFOEN	
LFRQ	
Midi Driver Settings[MDS]	Midi Driver Settings[MDS]
IgnoreKeyOff	False
KeyShift	0
PitchShift	0
PanShift	0
KeyOnDelay	0
KeyOffDelay	0
VelocityMap	
Memo	
SerializeData	{}
Sound Driver Settings[SDS]	Sound Driver Settings[SDS]
> ADSR	ADSR
> ARP	ARP
> FxS	FxS
Memo	
SerializeData	{}

MIDIでプログラムチェンジしたら、FM音源チップ全体の設定を変更する事が可能です

MIDIのコントロールチェンジ値にオフセットを追加できます

独自のADSRを設定できます

アルペジエーターを設定できます

独自のエフェクトを設定できます  
(高速アルペジオ、トレモロなどに便利です)

## 音色設定4(エキスパート向け)

MIDIキーボードのノブ/スライダなどに音色の変更機能を割り当てられます

The screenshot shows the 'Sound Control Change Settings[SCC]' section of the software. A table lists various sound control parameters. The 'SoundControl1' row is highlighted, showing the value 'Ops[0].TL'. Below the table, a detailed description of Sound Control 1 is provided.

SoundControl1	Ops[0].TL
SoundControl2	ALG
SoundControl3	
SoundControl4	
SoundControl5	
SoundControl6	
SoundControl10	
AfterTouchCh	
Memo	
SerializeData	{}
TimbreName	
Memo	
SerializeData	SerializeData
[001]	[001]
[002]	[002]
[003]	[003]

**SoundControl1**  
 Sound Control 1(Control Change No.70(0x46))  
 Link Data Entry message value with the Timbre property value  
 eg 1) "DutyCycle,Volume"  
 ... You can change DutyCycle and Volume property values dynamically via MIDI Control Change No.70 message.  
 eg 2) "16+Ops[2].TL/4, 64-Ops[2].MUL/2, Ops[2].D2R/4"  
 ... You can change Operator TL, MUL, D2R values dynamically via MIDI Control Change No.70 message.

CC#70~79のメッセージを送る事で、ここに記載した音色レジスタなどの値を変更できます

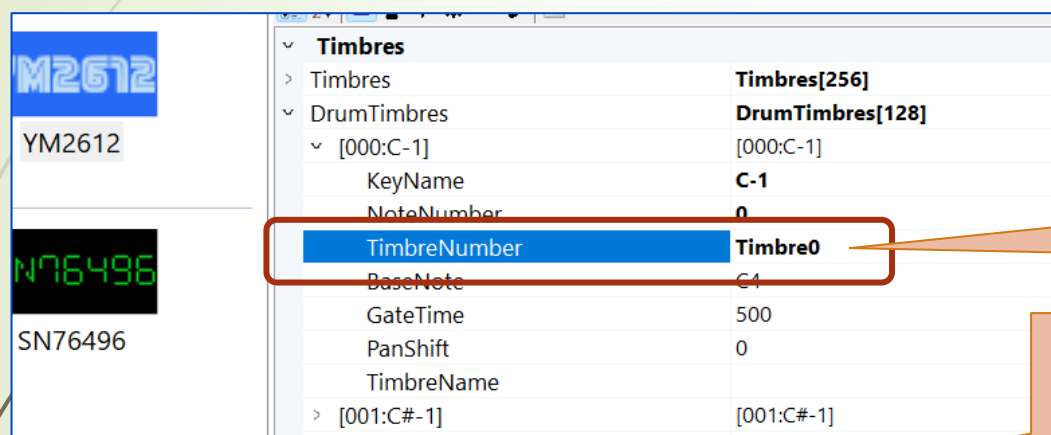
例えば「Ops[0].TL」と書くと、CC#70の値に合わせてオペレータ0のTL値が変化します。

四則演算も可能です。

AMS/PMSだけでなく、ALGなども記載できます。複数のレジスタを同時に変更したい場合は、カンマで区切っていれてください。

# 音色設定5(エキスパート向け)

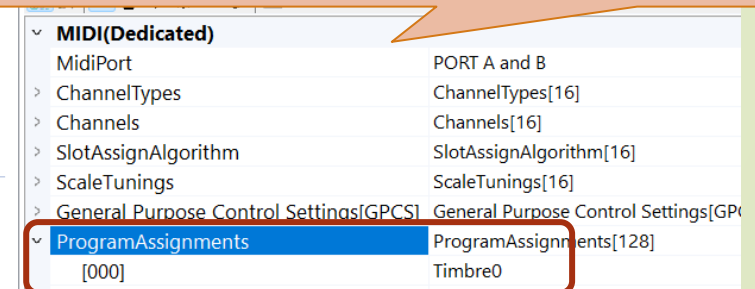
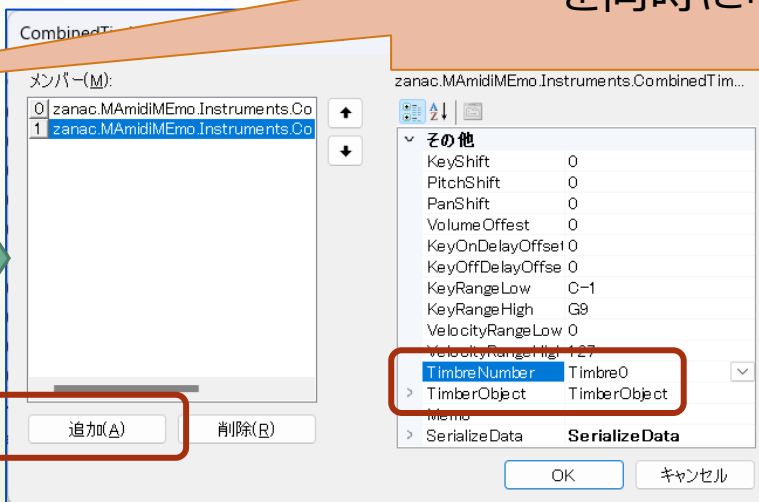
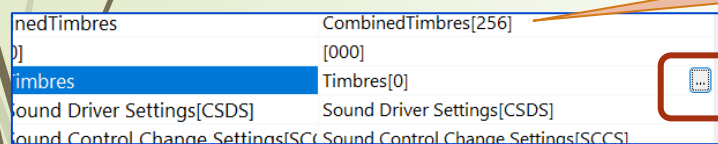
ドラムch(10ch)用の音色や、複数音を合成させた音色も設定できます



MIDI 10chの鍵盤C-1に、割り当てる音色を記載する

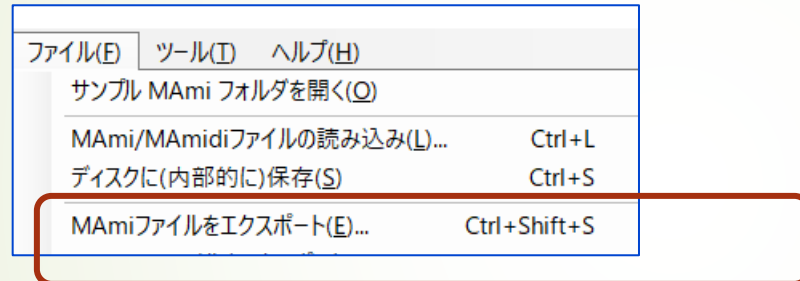
[CombinedTimbre]で複数音色を同時に鳴らせます

プログラム番号Xに、TimbreXではなく、CombinedTimbreXを割り当てます。(バンクを切り替えている、とイメージしてください)



# 設定を別の場所にエクスポートする

[Mamiファイルをエクスポート]を選んでください。



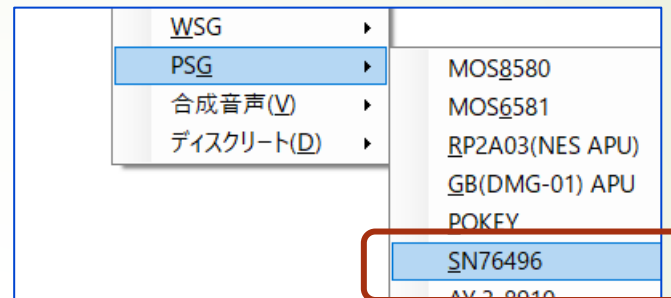
\*.Mamiファイルを読み込む場合は、ここにドロップします



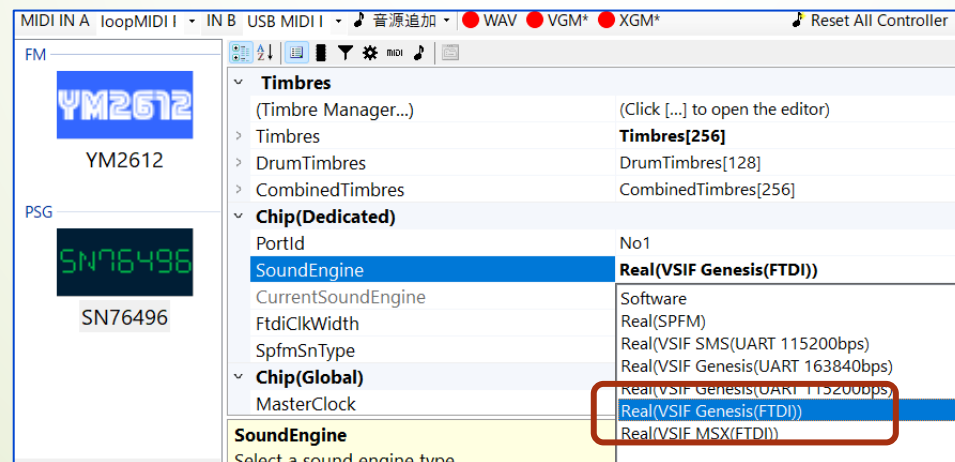


# DCSG音源もセットアップする

1. SN76496を選択します

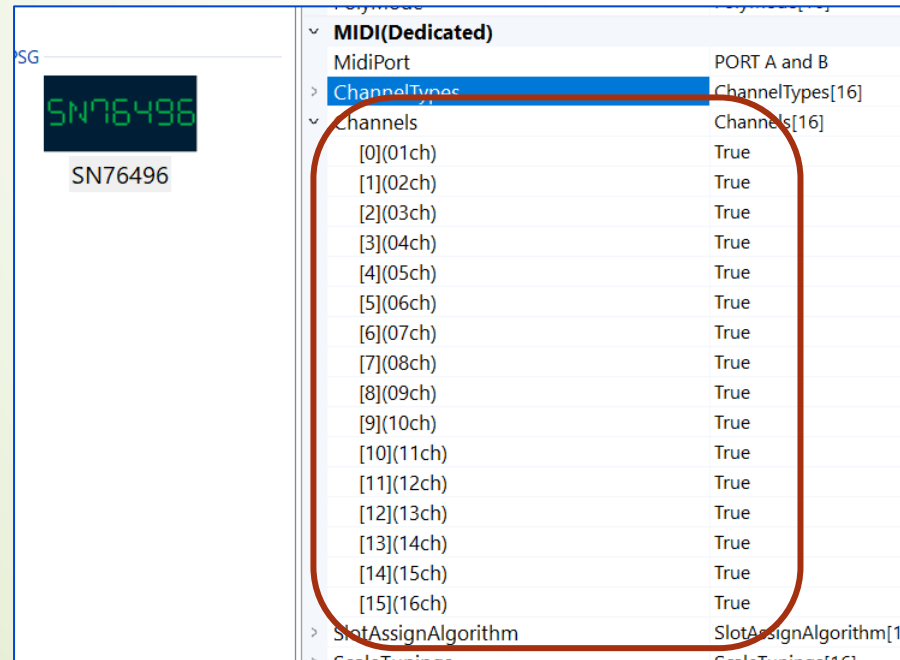


2. SN76496アイコンをクリックし、右側のペインで[SoundEngine]の設定から [ Real(VSIF Genesis(FTDI)) ]を選択します (YM2612の時と同じです)



# 受信MIDI ch設定

- 複数音源を追加すると、デフォルトでは各音源とも同じMIDI chを受信してしまいます。
- それぞれで受信するMIDI chを設定する場合は以下の[Channels]で受信する(True)/しない(False)を設定します



- ザックリとした説明ですが以上です。マニュアルの方にもいくつか情報が記載されていますので参照ください。

<https://github.com/110-kenichi/mame/blob/master/docs/MAmidiMEmo/Manual.pdf>

- なにかあれば、お手数ですがDMなどください